

純粹な汚れも、クリーニング店なら落としたい

有限会社 本家仕上屋
代表取締役 高橋 友広〒012-0823
湯沢市湯ノ原1-2-6TEL: 0183-73-3703
FAX: 0183-73-3705
<https://www.siageya.jp/>

お客様のオーダーに応えられない 汚れを落とせないことに気をもんだ日々

高橋さんが店を継いだのは平成12年ごろ。湯沢市では老舗クリーニング店として地元の方々から認識されている店舗だったという。そのため、チェーン店よりも技術的には秀でていると言われていたが、実際には大手メーカーの機械を導入し、大手メーカーの洗剤を使っているだけ特別な技術を持ち合わせていたわけではない。そのため、汚れを落とすことができず、顧客の要望に応えられることも多かった。この頃高橋さんは、クリーニング業界で一般的に使用されている「これ以上落ちません」カードの存在そのものに疑問を感じていたと振り返る。

「サービスを提供し、それに対する対価として代金が発生



するのが通常のルール。だが、クリーニングは受け付けた段階で支払いが確定します。やってみたけど落ちませんでした、でもお金は請求する。そこに違和感があった」。

店を継ぐ前年に本社兼店舗、工場を移転。借入金もある状況で、何かを変えなければいつか店がなくなってしまうと考えた高橋さんは、汚れと徹底的に向き合い、いかに汚れを落とすかを追求し始めた。

汚れがつくメカニズムを理解し 汚れを落とせる薬剤の調合を習得

そこで高橋さんはある国立大学の教授に「どんな汚れも落とせる薬剤を作りたい」と相談したが「不可能だ」と言われてしまう。しかし「汚れを良く知り、科学的な根拠に基づいて洗剤を作るべき」と助言を受け、九州の有名な薬品会社を紹介してもらった。

「世の中の汚れはすべてなんらかの化学反応で物質が付着していることがわかり、数年かけて独自のクリーニング薬剤開発に成功しました。業界では落とせないとされていた、何十年も経過したシミも、汚れに合わせて調合することで落とせるようになったんです」。

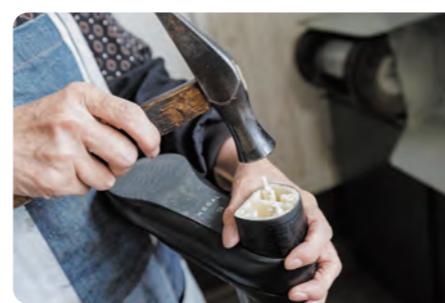
業務用として開発した洗剤だが、家庭用にも「ふんわり石鹼」として販売中。少ない使用料で業務用レベルの洗浄力を発揮することから、リピーターが多い人気商品だ。

既存ブランドの再構築を通じて 自社の強みと方向性を明確に

INPIT秋田県知財総合支援窓口にブランド再構築について相談し、加速的支援事業に採択され、専門家によるサポートを受けた。

「専門家による支援を通じて、実は当社が持つ技術が知られていないということに気付きました。“届けるべき人に、この技術を知ってもらわなければ”と助言をいただきました。例えば、中高生の運動部で使う練習着って汚れや匂いが蓄積して、落ちにくい。うちでクリーニングをすれば、1回100円でリセットできるんです。もう落ちないし汚いからと新しいものを買うよりもずっと安く、大事に使っていける。そんな需要もきっとあるはずだけど、知られていないことが問題なんだと感じています」。

今後は「感動品質のクリーニング & 革製品リペア」というセールスコピーを掲げ、従業員とともに胸を張って自分たちの技術をPRしていく意気込みを語ってくれた。



秋田市にある通町の店舗では、衣類などのクリーニングや、革製品のクリーニング、クツの修理なども受け付けている。

日々の研究の原動力は、社長自身の探究心。
過去に夜な夜なシャワールームで汚れの研究をしたこと。特許や商標取得にも力を入れ、
ブランディングと独自技術の確立を目指す。